

令和7年度山口県臨床検査技師会
精度管理調査報告

臨床一般部門

令和7(2025)年度

山口県臨床検査技師会

精度管理調査報告

【臨床一般部門】

1. はじめに

令和7(2025)年度の臨床一般部門は、フォトサーベイおよび文章問題10問、教育問題1問、アンケート調査を実施した。その集計結果に解説を加えて報告する。

なお、フォトサーベイ問題の出題範囲は「日本臨床衛生検査技師会精度管理調査」に準拠して実施した。

2. 参加施設数

令和7年度は53施設の参加があった。過去8年間については以下の通りであり、参加施設数はやや減少傾向であった。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施設数	59	58	59	56	53	54	55	53

3. 解説

設問 1

健常成人の尿で、誤っているものはどれか。1つ選択してください。

選択肢：

- ① ケトン体は、肝臓で生成される。
- ② ウロビリノーゲンは、全く排出されない。
- ③ 尿浸透圧は、50～1,300 mOsm/kg・H₂Oと変動する。
- ④ 1日尿量は、約1200 mLである。
- ⑤ 尿を放置すると、pHはアルカリ性に傾く。

統計／一般フォト、設問1				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
②	ウロビリノーゲンは、全く排出されない。	53	100.0	正解

【設問1の正解：② ウロビリノーゲンは、全く排出されない。】

【解説】

- ① ケトン体は、アセトン、アセト酢酸、β-ヒドロキシ酪酸の総称である。脂肪組織より分解された脂肪酸が肝臓でアセト酢酸を経て、アセトンまたはβ-ヒドロキシ酪酸に分解される。血中に入り、一部は筋肉や心臓などでエネルギー源となる。
- ② 健常成人でも少量のウロビリノーゲンが尿中に排出されている。試験紙法では、ジアゾカップリング反応、あるいはエールリッヒのアルデヒド反応が用いられているが、いずれも感度が十分でないため、陰性化を確認することができない。そのため、陰性判定が必要な場合は、エールリッヒのアルデヒド反応を用いた試験管法（ワーレス・ダイヤモンド法）を用いる必要がある。
- ③ 尿浸透圧は、水分摂取量や季節などにより、50～1,300 mOsm/kg・H₂O

と大きく変動し、低張から高張まで様々な値をとる。

- ④ 健常成人の1日尿量は、1,000～1,500mLである。2,000mL以上を多尿とよび、400mL以下を乏尿、また100mL以下を無尿という。
- ⑤ 尿pHは、食事、運動、睡眠などの生理的要因によって4.5～8.0程度と幅広く変動する項目である。尿を放置すると、細菌による尿素の分解がおこりアンモニアが発生するため、pHはアルカリ性に傾くので、検体採取から迅速に検査を実施することが重要である。

設問 2

尿試験紙法で偽陰性となる可能性のある組み合わせはどれか。1つ選択してください。

選択肢：

- a 蛋白 ———— 強アルカリ性尿
 b 潜血 ———— 過酸化水素
 c ブドウ糖 —— アスコルビン酸
 d ビリルビン — 室温で6時間放置
 e 白血球反応 — ホルマリン

- ① a,b ② b,c ③ c,d
 ④ d,e ⑤ a,e

統計／一般フォト、設問2				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
③	c,d	52	98.1	正解
④	d,e	1	1.9	

【設問2の正解：③ c,d】

【解説】

- a 蛋白は、pH指示薬の蛋白誤差反応を測定原理としている。pH8.0以上の強アルカリ性尿や緩衝作用を有する尿では、偽陽性を示すことがある。
- b 潜血は、ヘモグロビンのペルオキシダーゼ様作用を測定原理としている。過酸化水素や次亜塩素酸、さらし粉などの酸化物が混入すると、ヘ

モグロビンと同様に反応するため、偽陽性を示すことがある。

- c ブドウ糖は、GOD、PODによる色原体の酸化発色を利用している。アスコルビン酸（ビタミンC）などの還元性物質の共存により、酸化反応が弱くなる（偽陰性）。
- d ビリルビン、ジアゾカップリング反応を測定原理としている。室温で放置すると、空気中の酸素により酸化されてビリベルジンに変化するため、偽陰性となることがある。また、光線による化学分解やアスコルビン酸や亜硝酸塩を含む尿でも偽陰性となることがある。
- e 白血球反応は、白血球のエステラーゼ活性を測定原理としている。ホルマリンの混入は、偽陽性の要因となることがある。また高糖尿、高蛋白尿や放置などではエステラーゼが失活し、陰性化することがある。

設問 3

次のうち、尿沈渣検査法で正しいものはどれか。1つ選択してください。

選択肢：

- ① カバーガラスは、16×16mmを用いる。
 ② 遠心力は、1500gに設定する。
 ③ 遠心機は、懸垂型（スイング型）遠心機を使用する。
 ④ 遠心時間は、10分間とする。
 ⑤ スピッツ型遠心管は、10mLと0.1mLに正確な目盛のあるものを用いる。

統計／一般フォト、設問3				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
③	遠心機は、懸垂型（スイング型）遠心機を使用する。	53	100.0	正解

【設問3の正解：③ 遠心機は、懸垂型（スイング型）遠心機を使用する。】

【解説】

- ① カバーガラスは、**18×18 mm** を用いる。
- ② 遠心力は、**500 G** に設定する。
- ③ 遠心機は、懸垂型（スイング型）遠心機を使用し、**傘型（アングル型）遠心機を使用してはいけない。**
- ④ 遠心時間は、**5分間**とする。
- ⑤ スピッツ型遠心管は、**10mL と 0.2mL** に正確な目盛のあるものを用いる。

統計／一般フォト、設問 4				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
③	A：糸球体型赤血球 B：非糸球体型赤血球	51	98.1	正解
②	A：非糸球体型赤血球 B：糸球体型赤血球	1	1.9	

【設問 4 の正解：③ A：糸球体型赤血球
B：非糸球体型赤血球】

【解説】

- 写真 A の赤血球形態は、標的・ドーナツ状やコブ・ドーナツ状の不均一赤血球を呈する。赤血球は大小不同があり、中心部の窪みは不整形を伴い、ヘモグロビン色素も薄いことから**糸球体型赤血球**と考えられる。
- 写真 B は、ヘモグロビン色素に富んだ典型的な非糸球体型赤血球である。赤血球形態は主に萎縮し金平糖状を示しており、ヘモグロビン色素は薄黄色調～黄色調を認める。萎縮していない赤血球中心部の窪みは、小～中程度で円形状を示していることから、比重や浸透圧変化に伴う**非糸球体型赤血球**と考えられる。

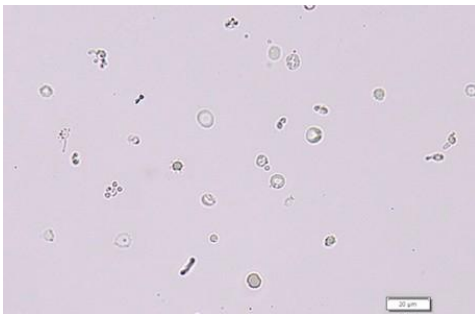
設問 4

写真 A、B は異なる患者尿中に認められた成分です。
写真に示す赤血球の形態を判定してください。

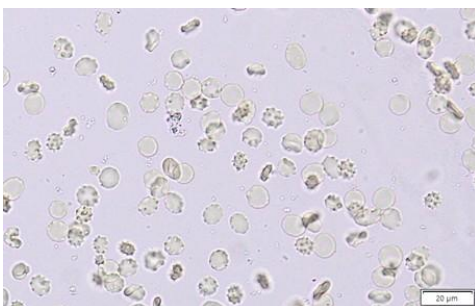
選択肢：

- ① A：非糸球体型赤血球 B：非糸球体型赤血球
- ② A：非糸球体型赤血球 B：糸球体型赤血球
- ③ A：糸球体型赤血球 B：非糸球体型赤血球
- ④ A：糸球体型赤血球 B：糸球体型赤血球
- ⑤ 判定できない

➤ 写真 A： 無染色 400 倍



➤ 写真 B： 無染色 400 倍



設問 5

70代 女性 自然尿
写真に示す成分を判定してください。

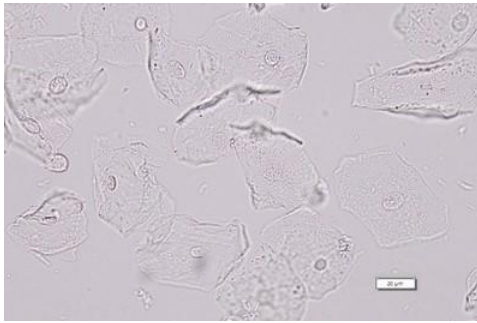
A：無染色 400 倍
B：Sternheimer 染色 400 倍

尿定性成績：pH 6.5 蛋白（－）
糖（－） 白血球（2+） 亜硝酸塩（－）

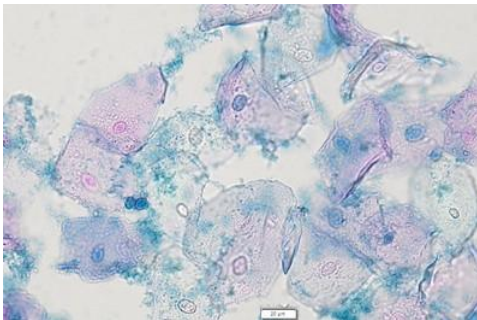
選択肢：

- ① 尿細管上皮細胞
- ② 尿路上皮細胞
- ③ 扁平上皮細胞
- ④ 円柱上皮細胞
- ⑤ 異型細胞（扁平上皮癌疑い）

➤ 写真 A： 無染色 400 倍



➤ 写真 B： Sternheimer 染色 400 倍



統計／一般フォト、設問 5				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
③	扁平上皮細胞	52	100.0	正解

【設問 5 の正解： ③扁平上皮細胞】

【解説】

- 扁平上皮細胞の組織像は、基底膜に対して細胞が水平で多層性に配列し中層型～深層型と表層型で構成されている。今回は扁平上皮細胞の表層型を出題した。
- 表層型は大きさ 60～100 μm 、形は主に不定形で細胞質は著しく薄い。細胞質表面構造は均質状を示すが、辺縁が捻れたり折れ曲がったり、シワ状を呈していることが多い。S 染色での染色性は良好で赤紫色に染め出される。扁平上皮細胞は、膣トリコモナスや細菌感染などによる尿道炎、尿道結石症、カテーテル挿入などによる機械的損傷後、前立腺がんのエストロゲン治療中などの場合に多く出現する。また、女性の尿中には尿路系に異常がな

くても外陰部由来、膣部由来の扁平上皮細胞が赤血球や白血球、細菌などとともに混入しやすい。

設問 6

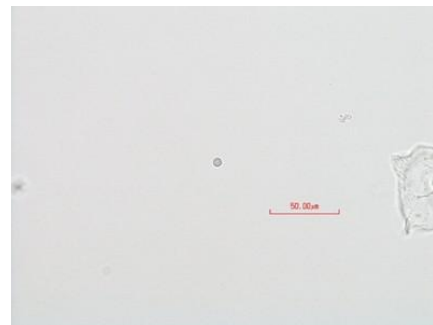
30 代 女性 自然尿
写真に示す成分を判定してください。

A：無染色 400 倍 B：無染色 400 倍
尿定性成績： pH 7.5 蛋白（－）

選択肢：

- ① マルベリー小体
- ② 赤血球
- ③ 白血球
- ④ 真菌
- ⑤ シュウ酸カルシウム結晶

➤ 写真 A： 無染色 400 倍



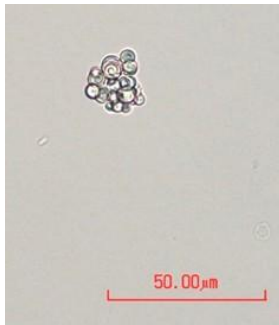
➤ 写真 B： 無染色 400 倍



➤ 写真 A： 成分の拡大像



➤ 写真 B：成分の拡大像



統計／一般フォト、設問 6				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
①	マルベリー小体	52	100.0	正解

【設問 6 の正解：① マルベリー小体】

【解説】

- 無染色の写真 A では、赤血球大の渦巻き状構造をもつ脂肪球がみられる。赤血球や真菌などとの鑑別が重要であるが、特徴的な渦巻き状構造が鑑別のポイントとなり、マルベリー小体と判定する。写真 B では、マルベリー小体が詰まった、桑実に類似する細胞が認められ、マルベリー細胞とも呼ばれる。
- 尿中マルベリー小体・細胞はタンパク尿や腎機能障害を認めていない病初期でも確認されるため、ファブリー病の早期診断に重要な所見とされている。

設問 7

70代 男性 自然尿
写真に示す成分を判定してください。

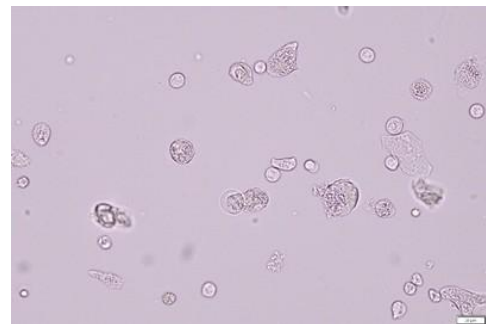
A：無染色 400倍
B：Sternheimer 染色 400倍

尿定性成績：pH 5.5 蛋白（－）
糖（－） 潜血（±）

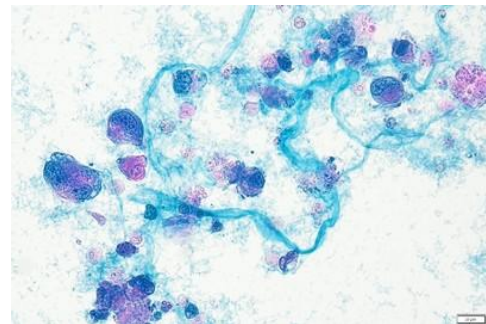
選択肢：

- ① 尿細管上皮細胞
- ② 尿路上皮細胞
- ③ 扁平上皮細胞
- ④ 異型細胞（腺癌疑い）
- ⑤ 異型細胞（尿路上皮癌疑い）

➤ 写真 A：無染色 400倍



➤ 写真 B：Sternheimer 染色 400倍



統計／一般フォト、設問 7				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
⑤	異型細胞（尿路上皮癌疑い）	38	73.1	正解
④	異型細胞（腺癌疑い）	12	23.1	許容正解
②	尿路上皮細胞	2	3.8	

【設問 7 の正解：

⑤ 異型細胞（尿路上皮癌疑い）
許容正解：④異型細胞（腺癌疑い）】

【解説】

- 写真 A の成分は、小型で N/C 比が高く、表面構造がザラザラした細胞を認める。写真 B で核クロマチンは S 染色で濃く染まり、クロマチンの増量が著明であることがわかる。また核は中心～偏在して

おり、腫大傾向で異型性が強く、細胞質の表面構造が尿路上皮細胞と類似していることから、異型細胞（尿路上皮癌疑い）と考えられる。

- 鑑別を要する細胞として、腺癌細胞は核腫大や核形不整、明瞭な核小体を伴う円柱状の細胞が柵状配列や放射状配列で出現することから除外することができる。尿路上皮癌は50歳以上の男性で好発し、血尿、膀胱刺激症状での発症が多いため、年齢、臨床所見の確認も重要である。

*本設問はフォトサーベイの画像のみでは組織型の判定は困難であることも考えられるため、選択肢④異型細胞（腺癌疑い）も許容正解とします。

設問 8

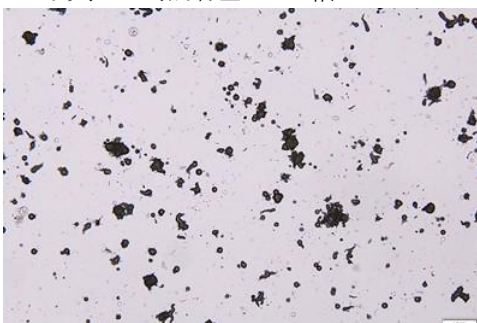
8歳 男性 自然尿
 ロタウイルス胃腸炎で入院中の患者尿に認められた成分です。
 写真に示す成分を判定してください。

A：無染色 100倍 B：無染色 400倍
 尿定性成績：pH 5.5 蛋白（±）
 糖（-） 潜血（-） ケトン体（1+）

選択肢：

- ① 尿酸結晶
- ② 酸性尿酸アンモニウム結晶
- ③ コレステロール結晶
- ④ リン酸カルシウム結晶
- ⑤ リン酸アンモニウム・マグネシウム結晶

➤ 写真 A：無染色 100倍



➤ 写真 B：無染色 400倍



統計／一般フォト、設問 8				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
②	酸性尿酸アンモニウム結晶	52	100.0	正解

【設問 8 の正解：②酸性尿酸アンモニウム結晶】

【解説】

- 写真の成分は、棘を有する球状の尿酸アンモニウム結晶で、多数認められる。大小不同の棘が特徴で、無染色で褐色～淡黄色であり、塩酸、酢酸、水酸化カリウムで溶解する。小児におけるウイルス性胃腸炎、ダイエット目的での緩下剤の乱用や糖尿病ケトアシドーシスでは、嘔吐下痢症状や腸疾患による高度脱水、組織障害や尿量の減少により尿酸アンモニウム結石が形成され、腎後性急性腎不全を発症すると報告されている。このような場合には、酸性化での尿中尿酸およびアンモニア濃度の上昇によって、酸性尿酸アンモニウム結晶が形成される。
- 本設問では、年齢が小児である点や、尿糖が陰性でケトン体が陽性であり、酸性尿で尿酸アンモニウム結晶が形成されたことがうかがえる。

設問 9

60代 男性 自然尿
 写真に示す成分から最も考えられる病態ほど

れか。1つ選択してください。

A：無染色 100倍

B：無染色 400倍

C：Sternheimer染色 400倍

尿定性成績：蛋白(3+) 糖(-)

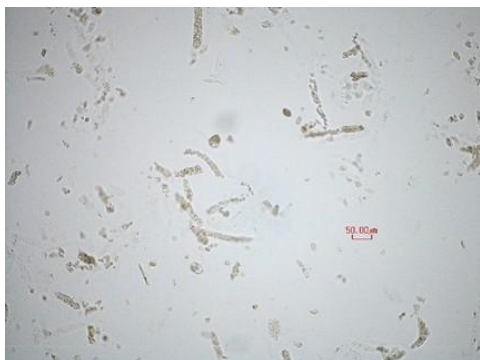
潜血(-)

生化学検査：eGFR 20mL/分/1.73m²

選択肢：

- ① 尿路感染症
- ② 感染性胃腸炎
- ③ 膀胱癌
- ④ 慢性腎臓病
- ⑤ 尿路結石症

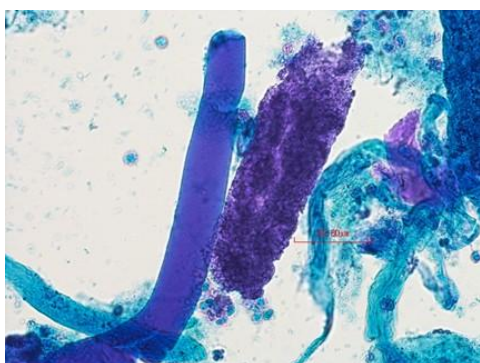
➤ 写真A：無染色 100倍



➤ 写真B：無染色 400倍



➤ 写真C：Sternheimer染色 400倍



統計／一般フोट、設問9				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
④	慢性腎臓病	52	100.0	正解

【設問9の正解：④ 慢性腎臓病】

【解説】

- 写真A、Bに認められる成分は、顆粒円柱であり、弱拡大で多くの成分が出現していることがわかる。また写真Cの中央にある成分は、基質内にS染色にて赤紫色に染色される顆粒成分を有する顆粒円柱と、S染色で赤紫色に染色される均一無構造のろう様円柱である。円柱全体が「ろう」のように均質無構造を認める。顆粒円柱は多くの腎疾患において腎機能低下と強く関連する円柱であり、腎実質の障害を意味する。ろう様円柱は尿細管腔の長期閉塞による円柱内の細胞成分の変性や血漿蛋白質の凝集均質状により出現すると考えられている。臨床的所見としてはネフローゼ症候群や腎不全など重篤な腎疾患にみられる。
- 本設問では、eGFR 20mL/分/1.73m²、尿蛋白が(3+)、顆粒円柱の多数出現に加え、ろう様円柱が出現していたことから、腎実質の障害は高度であることがうかがえる。考えられる病態は慢性腎臓病が最も適当である。

設問 10

70代 女性

右膝の疼痛を認め、整形外科を受診した患者の関節液です。

写真(→黄色矢印)に示す成分を判定してください。

A : 鋭敏色偏光像 400 倍
 B : 鋭敏色偏光像 400 倍
 血液検査 : WBC 7,550 / μ L
 RBC 349 x 10⁴ / μ L Hb 11.0 g/dL
 生化学検査 : UA 2.4 mg/dL
 CRP 9.12 mg/dL

選択肢 :

- ① 尿酸ナトリウム結晶
- ② ピロリン酸カルシウム結晶
- ③ コレステロール結晶
- ④ リン酸アンモニウム・マグネシウム結晶
- ⑤ シュウ酸カルシウム結晶

➤ 写真 A : 鋭敏色偏光像 400 倍



➤ 写真 B : 鋭敏色偏光像 400 倍



統計 / 一般フォト、設問 10				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
②	ピロリン酸カルシウム結晶	52	100.0	正解

【設問 10 の正解 : ② ピロリン酸カルシウム結晶】

【解説】

- 写真の成分は太くて短く、棒状から菱形状のピロリン酸カルシウム結晶である。鋭敏色偏光顕微鏡下ではピロリン酸カルシウム結晶は Z'軸に平行の時は青色、垂直の場合は黄色の複屈折を認める。
- 鑑別を要する結晶成分として、尿酸ナトリウム結晶は先端の尖った針状結晶として認められる。鋭敏色偏光顕微鏡下では尿酸ナトリウム結晶は Z'軸に平行の時は黄色、垂直の場合は青色の複屈折を認めることから除外することができる。コレステロール結晶は平面状で角に切れ込みのある長方形をしている。鋭敏色偏光顕微鏡下では結晶の厚さによって変化する多彩で強い複屈折を示すことから除外することができる。

設問 11 (教育問題)

※設問 11 は教育問題とし、評価対象とは致しません。

70 代 男性 自然尿
 泌尿器科を受診した患者尿に認められた成分です。
 最も適当な結晶成分を選択してください。

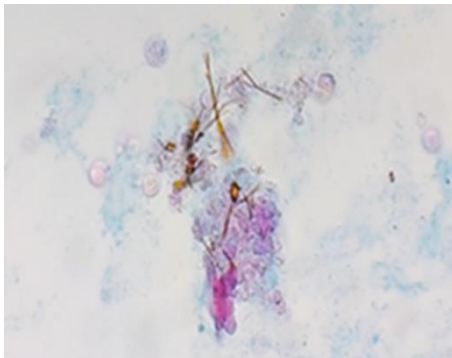
A : 無染色 400 倍
 B : Sternheimer 染色 400 倍
 尿定性成績 : pH 6.5 蛋白 (-)
 潜血 (1+) ビリルビン (-)

選択肢 :

- ① 尿酸結晶
 - ② ビリルビン結晶
 - ③ 薬物結晶
 - ④ リン酸カルシウム結晶
 - ⑤ ヘマトイジン結晶
- 写真 A : 無染色 400 倍
 ➤



➤ 写真 B： Sternheimer 染色 400 倍



統計／一般フォト、設問 1 1				
コード	回答名称	件数	(%)	正解
⑤	ヘマトイジン結晶	49	94.2	正解
③	薬物結晶	3	5.8	

【設問 11 の正解：

⑤ ヘマトイジン結晶】

【解説】

- ヘマトイジン結晶は尿沈渣検査法 2010 に未掲載であるが、日常検査で稀に遭遇する成分であることから教育問題として出題した。
- 色調は黄褐色で形状は針状または菱形状結晶で、針状結晶と菱形状結晶が合体した形状でしばしばみられる。膀胱内などの嫌気的環境で出血がおこり、ヘモグロビンが分解・結晶化することにより生成される。ビリルビン結晶とは出現する病態が異なるので鑑別する意義は高い結晶成分である。
- 鑑別が必要なビリルビン結晶は、

尿中、血液中のビリルビンが高値であること、ビリルビンによる背景の尿沈渣成分が黄染しやすいことなどが特徴である。

4. アンケート調査について

本年度もアンケート調査を実施しました。精度管理調査に関する内容、研修会希望について調査しました。詳細につきましては、結果を参照してください。

5. まとめ

日臨技臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価方法に準じ、出題した。

今年度の正答率(許容正解含む)はすべてにおいて 90%を超えており、良好な結果が得られた。正解率が低かった設問 7 (異型細胞の鑑別) については、今後も研修会などを通じて、臨床貢献できる能力を向上できる機会を提供したいと考えている。

不正解を認めた施設は、自施設内での目合わせ、各種研修会や精度管理報告会、本報告書等の解説を参考に、更なる精度向上に繋げていただきたい。

またアンケート調査におきまして、多数のご意見ありがとうございます。今後の課題として取り組ませていただきます。

おわりに

今年度の臨床一般部門サーベイにご協力いただき、感謝申し上げます。今後もこのサーベイが、各施設での精度管理向上にお役に立てれば幸いです。

参考文献

- (1) 尿沈渣検査法 2010, (社) 日本臨床衛生検査技師会編, 2011
- (2) 一般検査技術教本, 第1版 (JAMT 技術教本シリーズ), 丸善出版, 2017
- (3) 一般検査技術教本 第2版 (JAMT 技術教本シリーズ), 丸善出版, 2024
- (4) 最新臨床検査学講座 一般検査学, 医歯薬出, 2016
- (5) 最新尿検査 -その知識と病態の考え方- 第3版, メディカル・ジャーナル社, 2014

【一般フォト統計】

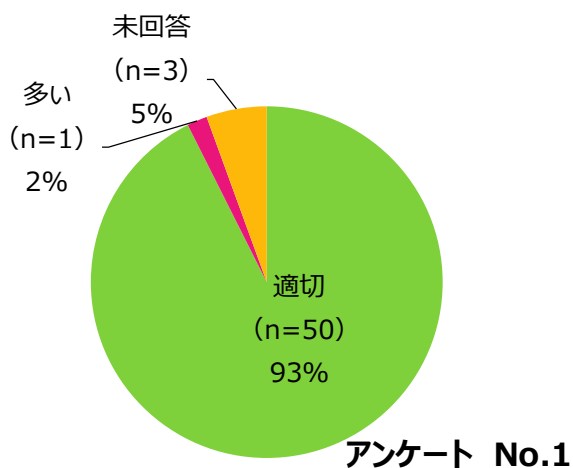
許正：許容正解

No.	総件数	正解		正解+許容正解		正解	結果	件数	比率(%)
		件数	比率(%)	件数	比率(%)				
No.1	53	53	100.0	53	100.0				
						正解	(2) ウロビリノーゲンは、全く排出されない。	53	100.0
No.2	53	52	98.1	52	98.1				
						正解	(3) c,d	52	98.1
							(4) d,e	1	1.9
No.3	53	53	100.0	53	100.0				
						正解	(3) 遠心機は、懸垂型(スイング型)遠心機を使用する。	53	100.0
No.4	52	51	98.1	51	98.1				
						正解	(3) A: 糸球体型赤血球 B: 非糸球体型赤血球	51	98.1
							(2) A: 非糸球体型赤血球 B: 糸球体型赤血球	1	1.9
No.5	52	52	100.0	52	100.0				
						正解	(3) 扁平上皮細胞	52	100.0
No.6	52	52	100.0	52	100.0				
						正解	(1) マルベリー小体	52	100.0
No.7	52	38	73.1	50	96.2				
						正解	(5) 異型細胞(尿路上皮癌疑い)	38	73.1
						許正	(4) 異型細胞(腺癌疑い)	12	23.1
							(2) 尿路上皮細胞	2	3.8
No.8	52	52	100.0	52	100.0				
						正解	(2) 酸性尿酸アンモニウム結晶	52	100.0
No.9	52	52	100.0	52	100.0				
						正解	(4) 慢性腎臓病	52	100.0
No.10	52	52	100.0	52	100.0				
						正解	(2) ピロリン酸カルシウム結晶	52	100.0
No.11 (教育問題)	52	49	94.2	49	94.2				
						正解	(5) ヘマトイン結晶	49	94.2
							(3) 薬物結晶	3	5.8

アンケート調査について

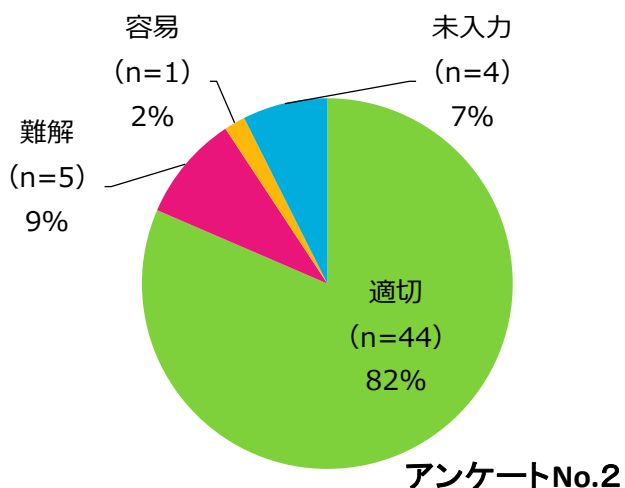
アンケート No. 1

今年度の精度管理調査（臨床一般部門）の設問の量について、最も近い選択肢を選んでください。
(n=54)



アンケート No. 2

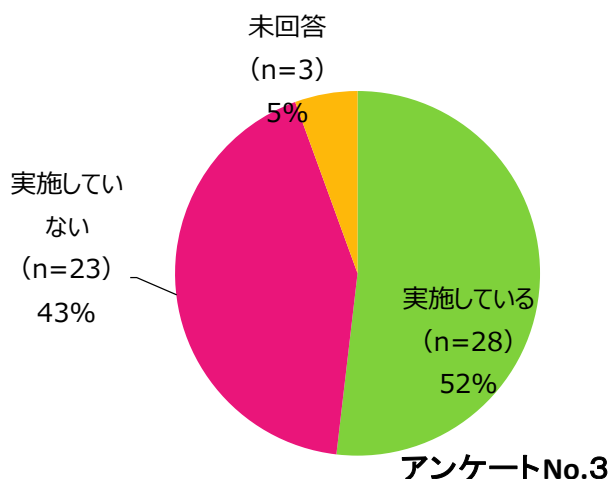
今年度の精度管理調査（臨床一般部門）の難易度について、最も近い選択肢を選んでください。
(n=54)



アンケート No. 3

関節液検査における実施状況において、最も近い選択肢を選んでください。

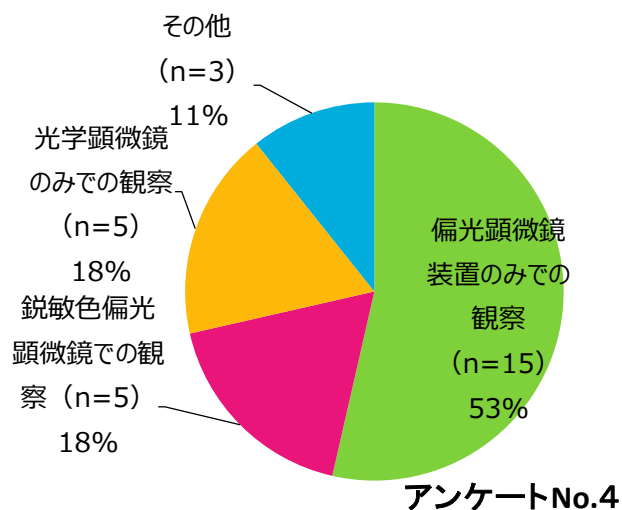
(n=54)



アンケート No. 4

関節液検査における実施状況において、結晶鑑別に最も近い選択肢を選んでください。

(n=28)

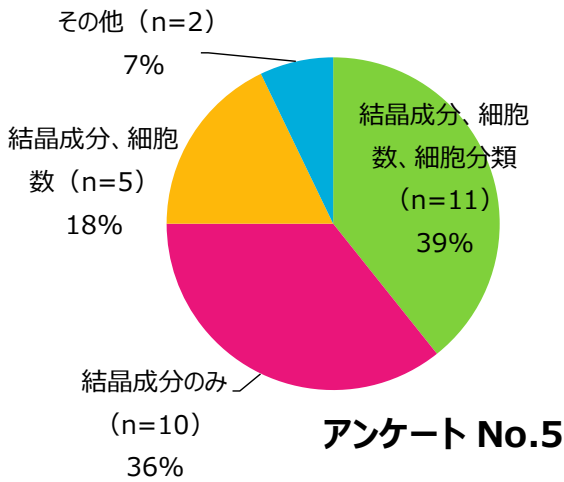


その他（内訳）	施設数
外注・検査センターへ依頼	2
結晶鑑別は未実施	1

アンケート No. 5

関節液検査における実施状況において、報告している項目で最も近い選択肢を選んでください。

(n=28)



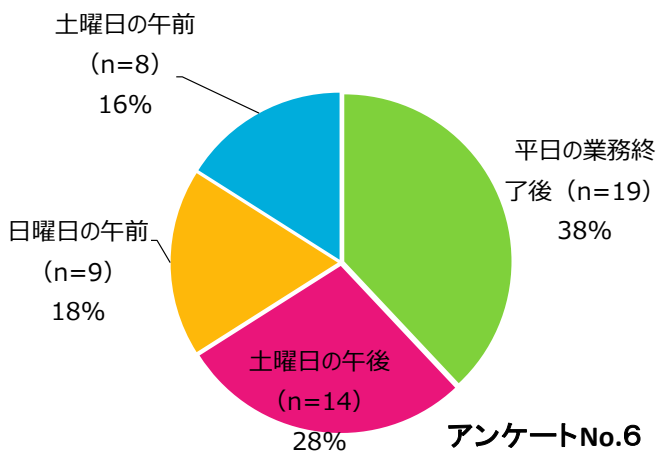
アンケート No.5

その他 (内訳)	施設数
外注検査 (結晶成分のみ)	1
細胞数、細胞分類	1

アンケート No. 6

Zoom を用いた研修会の開催時間の希望について、最も近い選択肢を選んでください。

(n=50)

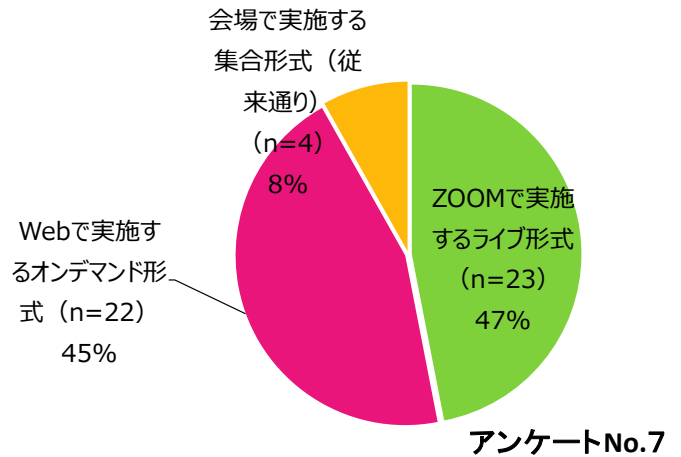


アンケートNo.6

アンケート No. 7

臨床一般部門研修会の開催形式について、最も近い選択肢を選んでください。

(n=49)



アンケートNo.7

アンケート No. 8

アンケートで取り上げて欲しい内容がありましたらお書きください。

- 尿沈渣検査実施者の育成方法について
- 尿沈渣フローサイトで真菌を赤血球に誤カウントしてしまいますが、その場合の対応はどのようにしていますか？
- 特にございません。

アンケート No. 9

県内研修会で、取り上げて欲しい内容・テーマがありましたらお書きください。

- 寄生虫学の基礎知識
- 腎臓の機能と疾患について、尿沈渣の上皮細胞系について (正常、異型どちらも)

- 髄液検査、穿刺液の検査の方法とその検査値の意味
- 尿沈渣の基本
- 尿定性検査や尿沈渣検査の基本的な内容や病態との意義について
- 認定一般技師への知識習得

アンケート No. 10

山口県臨床検査技師会（臨床一般検査領域）に関して、ご意見・ご要望などありましたらお書きください。

- もう少し開催の回数を増やしていただいたり、新人さんへの基本的知識から、ベテランさん、認定技師を目指す技師へのサポートをいただけると助かります。多忙とは存じますが、無理のない範囲でよろしく願いいたします。
- 今年度の体腔液についての勉強会がとても面白く、ためになりました。
- いつも様々なテーマで研修会を行っていただきありがとうございます。
- 引き続きよろしく願いいたします。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後の精度管理調査、研修会計画などに有益に活用させていただきます。

以上